

古今当在

二代伊藤忠兵衛が滞在した城



現在、史料館には総合商社伊藤忠商事・丸紅の創業家である伊藤忠兵衛家伝来の史資料が保管され、両社の史資料とともに整理・目録作成の作業が進められています。忠兵衛家の事業は、二代忠兵衛（一八八六―一九七三）によって近代的経営化が進められました。彼の近代経営の知識は、県立商業学校（現在の八幡商業高校）で学んだことが基礎となったと思われませんが、それ以上に一九〇九年四月から翌年九月にかけて米英、とりわけ英国に滞在して欧州大陸の企業や博覧会を実見したことや、短期間ではあったがブラッドフォード・テクニカル・カレッジで学んだことなどの実学経験も等閑視はできません。

右に掲げた城は、スコットランドのロツホ・ローモンドの畔に現存している *Boturich Castle* ですが、二代忠兵衛は渡英直後の一九〇九年八月に滞在し、当主夫妻から歓待を受け、多くのことを学んだと回想しています。この城は一八三二年に建てられ、一

八五〇年に八角形の塔が増築されました。スコットランドで最も著名な小説家である *Sir Walter Scott* が *Rob Roy* を執筆した際に訪問したとも伝えられています。

二代忠兵衛が滞在した時の城主は、*Robert Elmsall Findlay* でした。この人物は *Findlay, Richardson & Co.* を経営しており、明治十九年（一八八六）に初代が創設した伊藤西店は、神戸に所在した商館と取引をしていたようです。その関係があったて、二代忠兵衛が訪問し歓待されたのでしょうか。

（特任教授 宇佐美英機）

.....
二〇一五年一〇月から二〇一六年三月までの史料館の動き

◇史料館新営二〇周年記念特別展

「重要文化財 菅浦文書を読み解く」

一〇月一三日～十一月二〇日

◇関連講演会・シンポジウム（平成二七年一〇月三二日）

・「中世菅浦の景観」 長浜市長浜城歴史博物館館長 太田浩司氏
・「菅浦の歴史と史料を語る」 科研費共同研究グループ

◇整理終了史料

「今井惣左衛門家文書」二八九点、「東野家文書」八六点、「石田興平氏資料」四一二点

発行 滋賀大学経済学部附属史料館 TEL 0749-27-1046

<http://www.biwako.shiga-u.ac.jp/shiryō>